

新松田駅周辺整備事業

ほかについて



質問者
井上 栄一 議員



(1) 新松田駅周辺整備事業は、ここで再開発準備組合の発足という節目を迎えました。しかし、松田町の歴史上最重要事業である新松田駅周辺の駅前広場整備事業・再開発事業は、町民の思い描く将来像なのでしょうか。町民の期待・要望している駅前再開発事業となっていくのでしょうか。

今後、町はどのように町民のコンセンサスをとっていくのか伺います。
(2) 6月からの町図書館システムの停止について、町民から問い合わせがあり、今後の図書館利用について町民の不安が多く寄せられています。

次期図書館システム委託料がなぜ当初予算に計

を賜りながら進める。
(2) 将来を見据えた機能が追加できるのかなどシステムの調査・検討に時間を要し、不確定要素ばかりだと判断し当初予算計上しなかった。
この6月議会で補正予算に計上した。
補正予算が認められれば、図書館システムは、データ移行・新システム導入に3ヶ月程度要し、10月から稼働する予定。

A まちづくりは基本構想に則ってやっていく

回答 (町長)



(1) この事業は町の最重要事業であり、事業の進捗により町広報紙、ホームページ、マスコミを通じた情報発信や説明会の開催など、公表していきます。今後町民や工商业者など多くの関係者に協力



新システム導入予定の図書館

令和4年度協働のまちづくりの成果について



質問者
齋藤 永 議員



町長は、令和4年度当初の予算化にあたり、町民との協働による問題解決の必要性を挙げ、私の質問に回答されましたのでその成果をお聞きします。

(1) 西平畑公園全体の利活用について、様々な事業者とサウンディングを行うと回答された。その内容と結論は。
(2) 町内での経済循環システムの観点から、新ポイラー導入に伴う町内エコシステムの現状や、地域通貨の検討などSDGs事業の成果は。
(3) 自治会におけるタブレット端末試験導入の効果、高齢化対策の成果及び加入率増加のための対策について。

A 一部完了 未だまだ進化中

回答 (町長)



(1) 西平畑公園のサウンディング調査は9事業者の参加をいただいた。内容はシャトルバスの運行等についての提案。キャンプ施設に関する提案。Parkierpfi等の手法と併用する提案。管理期間を5年以上、10年以上という提案。指定管理料は不要という提案があった。
指定管理者を公募した

(3) 自治会へのタブレット端末導入は26自治会中23自治会が利用している。タブレットを利用して行政協力委員の職務や自治会活動をはじめ自主防災活動や地域福祉、環境美化活動を着実に進めている。自治会加入促進は町民課の窓口で入会チラシと加入申込書を渡している。



導入されたSDGsサポート支援システム

ところろろ者のみ応募してきた。
(2) SDGsサポート支援システムを導入し順調に進んでいる。